

Museum News

新しいステージへ



附属総合ミュージアム 館長 横川公子

2024年7月11日、附属総合ミュージアムは国の登録博物館（総合博物館）として登録されました。具体的な申請準備から登録に至るまでに、ほぼ一年を要しました。その間の手続きや対応は、簡単にいえば、ミュージアムの企画やバックヤード業務、さらにその基盤となる制度的洗い直しのための営為だったといえます。登録されたことで、積み重ねてきた営みや成果に形が与えられ、その成果は兵庫県社会教育課への定期報告によって共有され公式化することになります。

ところでかかりつけ医院に行くと、待合室にドクターの専門領域や診療資格を示す保証書が掲げられています。患者としての当方は、それを確認して受診するようになったわけでもなく、診察や処方箋の発行を待ちながら漫然と眺めるのが常です。しかし、この掲示が診療や医療制度に対する保証を明示していることにも気づきます。文化庁から登録博物館章と証書が届き、それを目立つところに掲げることになるのですが、来訪者に向けて説得力のあるメッセージとなるでしょう。

一方当ミュージアムの現場では、バックヤードの諸業務と調査研究、展示などの企画がいつものように進められています。登録文化財の現物確認に取り組むアルバイト学生にいたるまで、日々の業務を粛々とこなしています。そんな中から、大学院修士課程や博士課程への進学を考える学生が複数出てきたのです。内部のみならず外部からも、収蔵品に絡む質問や活用の打ち合わせが数件を数えています。

附属総合ミュージアムは、確かに新しいステージに入ったと感じています。

登録博物館認定



登録博物館になるためには、博物館資料の収集・保管、調査研究体制、学芸員等の職員の配置、施設・設備等が基準に適合し、都道府県等による審査を通過することが必要です。認定されるメリットとしては、①認知度の向上、②公的機関等の資金援助等の機会の増加、③他館等の連携、展示の共有、④文化遺産や歴史を保護・保存による地域貢献などがあげられます。また、総合博物館として、展示のバリエーション等が広がることから、さらに多様なニーズに対応できるようになります。教育面でも学芸員課程の充実が期待されており、今後一層の発展を目指すことになります。

登録博物館記念秋季展

「女子学生は何を学んだのかー教育標本資料に見る女子高等教育の黎明ー」

開催期間 10月2日(水)～12月4日(水)

開館時間 平日 10:00～16:30

土曜 10:00～15:00

閉館日 日曜・祝日(但し、10月6日、10月13日は開館)

協力 奈良女子大学

講演会

「奈良女子大学所蔵の教育標本資料について」

講師 宮路淳子(奈良女子大学 教授)

日時 10月19日(土) 13:30～15:00(13:00開場)

会場 武庫川女子大学 日下記念マルチメディア館1階

マルチメディアホール



※参加者募集中・無料

こちらからお申し込みください

博物館実習生による展示「超和裁傳-100年前の姿にもどす美技-」



IR 館1階ロビーの秋季企画展「超和裁傳-100年前の姿にもどす美技-」は、学芸員資格の取得を目指す博物館実習生8名が本ミュージアムでの実習で企画・実施したものです。ミュージアムでは収蔵する登録有形民俗文化財資料の調査、また必要に応じて破損やほつれなどの修復をおこなっています。修復された華やかな長襦袢とその修復過程、過去のものになりつつある和裁士の美しい技と往時の和裁道具を、フレッシュな学生の感性で展示表現しています。専門学芸員とは異なる、若い視点から捉えたミュージアムの「文化の継承」の仕事を、是非ご覧ください。 実習担当教員：森ゆかり

超和裁傳-100年前の姿にもどす美技-
2024年9月9日(月)～12月6日(金)



参加した博物館実習生



展示作業の様子

武庫川ヒストリー vol.2

武庫川ヒストリー vol.1 の答えは・・・あの碑文はどこにあるかという、正門の正面に立っている校祖・公江喜市郎先生の像のうしろにあります。

見つけれられた方はおられたでしょうか。次は、こちらです。



この碑は、武庫川学院の校祖・公江喜市郎先生の
出生地で産出された石材で作られています。

さらに、武庫川を詠んだ和歌が顕彰されています。

『武庫川の水脈を早みか

赤駒の足掻く激ちに濡れにけるかも』

さてはてこれはどこにあるのでしょうか

(答えは次号にてお伝えいたします)

ミュージアム所蔵資料の燻蒸作業をおこないました

2024年8月26日(月)から9月2日(月)にかけて、ミュージアムが所蔵する資料の燻蒸作業をおこないました。「燻蒸」とは、資料に付いている(と思われる)虫やカビを特殊なガスによって死滅させる作業のことで、資料を安全な状態で保存し、活用していくために、とても重要な作業です。このたびは、ミュージアムが所蔵する登録有形民俗文化財 9,092 点すべてに加え、カビ被害が懸念される資料を対象に実施しました。

燻蒸作業は、一度おこなえば今後も安心、というものではなく、虫やカビ被害の可能性を、いったんリセットするにすぎません。資料にとって大敵となる虫やカビは、収蔵場所の温度や湿度、ドアや窓の密閉状況など、様々な理由で再び付着する恐れがあります。しかし、一度燻蒸作業をおこなうことで、現状における被害の懸念を取り除き、今後の資料調査や展示作業などがよりやりやすくなります。今後は、虫やカビの被害が起きないように保存環境整備に取り組みながら、新規受贈資料や燻蒸未対応の資料について燻蒸作業を実施するなど、資料保存にこれまで以上に心を配ることで、ミュージアムの所蔵資料をさらに多くの方に知っていただき、調査・研究にも活用していただけるよう、取り組んでいきたいと考えています。

助手：並木晴香



燻蒸をおこなうテントを設営



ミシン・鏡台を含むのべ 507 箱を搬入



厳重に密閉し、ガスを封入

ミュージアム研究員の活動報告

1. 泊里 涼子（とまり りょうこ）

2024年8月24日～9月8日の期間、竹中大工道具館で開催した『第14回 座る・くらべる 一脚展+2024』に参加しました。主に兵庫県内で活動する木工家が、新作椅子を各一脚持ち寄るもので、今回は13脚の椅子が展示されました。名作椅子の1/5スケールモデルを手掛ける濱田由一氏の特別展、小規模工房による家具制作をテーマとした展示も同時に行われ、内容の濃い展示会となりました。私は、自身の研究テーマに沿って制作した「木理・木肌を感じる為の椅子」を出品しました。金属と組み合わせることで、木材特有の木目、色味の美しさや不思議さ、手触り等に改めて意識を向けさせました。また、座った姿を含めてオブジェのようになることを意図しました。制作期間を含め、大変勉強になりました。今後の活動に活かして参ります。



2. 平 法子（たいら のりこ）

6月16日に中国・四川大学艺术学院主催の「四川大学第5届国际宗教艺术与文化学术研讨会」において、「先導的「崑崙奴」図像考—以敦煌維摩詰經变「国王及諸王子問疾図」為線索」という題目で口頭発表を行いました。研究内容は、仏教芸術学会編『仏教芸術』第8号、中央公論美術出版、2022年に掲載された拙稿「先導する「崑崙奴」の図像的役割について—敦煌維摩經变相図の世俗人物群像を中心に—」を修正し、中国語翻訳したものです。本研究の着想を得たのは修士論文執筆中に遡ります。長年かけて書き上げた処女作の論文を、初めての海外の学会で発表できたことは非常に喜ばしく、先方のご恩情に深く感謝しております。多くの人からご教示いただいたことを忘れずに、今後も研究活動に邁進していきたいです。

3. 寺岡 波瑠（てらおか はる）

「学園前アートフェスタ 2024 公募作家選考展」に出展し、選考を通過しました。11月9日～17日の間で開催されるアートフェスタ本選の出品者となりました。<https://www.gakuenmae-af.com/>

研究交流会

日時 10月26日（土） 13:00～15:00

会場 武庫川女子大学 学術研究交流館（IR） 1階101教室

武庫川女子大学附属総合ミュージアム研究員の研究発表会を開催いたします

どなたでもご参加いただけます 参加申込不要・無料

5階ギャラリーでは秋季展を開催していますので合わせてお楽しみください

皆様のご来館をお待ちしております

発行者：附属総合ミュージアム

武庫川女子大学附属総合ミュージアム Museum News no.10 2024年10月発行

663-8558

西宮市池開町6-46 学術研究交流館（IR館）4・5階 Mail haku@mukogawa-u.ac.jp

TEL (0798) 45-3509 / FAX (0798) 45-9994

HP <https://www.mukogawa-u.ac.jp/~museum>

Museum
HP



MAP

